

平成 28 年 9 月 10 日(土曜日)

・西原村復興支援災害ボランティアセンター

ボランティアの方 3 名が支援物資を配布。  
隣の保育園ではボランティア主催の子育て中の  
家族向けのイベント(運動会)を実施していた。



・南阿蘇村

南阿蘇役場を目指したものの、  
途中通行止めだったため断念する。



・御船町仮設住宅

震災一か月後はテント村だったところには仮設住宅が建設され、ほぼすべて入居していた。  
訪問した当日引っ越してきたママとお子さんにリュックを渡す。



・御船町子育て支援センター

支援センターに遊びに来ていた親子 10 組にリュックを渡す。ママ達からは  
「こんないいリュック頂けて本当に嬉しいです。」

「子どもが 2 人いるので両手があくリュックはとても助かる。」

「(リュックを愛用していて)そろそろ新しいリュックが欲しかった。本当にありがたい。」

「(リュックを見て)丈夫でかわいいリュックだと思った。」

との声が聞かれた。

このリュックプロジェクトは、震災一か月後に、みっくみえスタッフが熊本入りし、現地のママ達に「なにか欲しいものは？」と聞き、「『丈夫でかわいいリュックが欲しい』との声から実現したと説明すると「リュックが欲しいと言ったママにも感謝したい。おかげでこんなに良いリュックを頂けた」と話した。



・熊本市男女共同参画センターはあもにい(ファミリーサポートセンター)

前回熊本にて母子支援をした時のママに会いに行く。実際ママとお子さんにはあえなかったがリュックを渡してもらおう職員の方をお願いした。

・熊本城

まだ石垣が崩れたところ、立ち入り禁止箇所は多々あった。  
震災後4か月たち修復が始まっているところもあるが、  
まだまだこれからといった様子。



9月11日(日曜日)

・由来助産院、NGO マザー&アースくまもと主催

母子のために贈る「熊本地震復興支援イベント」参加

リュック32個をイベントに参加されたママたちに抽選で配る。たくさんの応募を頂き、リュックを手にしたママたちからは「可愛い！」

「抱っこひもをしているとリュックの方が、手が空くし動きやすい」

と喜びの声を聞いた。早速リュックを背負ってこの後のイベントに参加している方もいた。

抽選で外れた方にはりゅっくまクリアファイルとおしり拭きをプレゼントした。

復興支援講演会『今だからこそできる本当の支援』講師：田尻由貴子氏より紹介頂き、松岡代表が壇上にて参加者にリュックプロジェクトの経緯を説明した。

